

仁淀川水系流域治水プロジェクト2.0の推進

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

- ・仁淀川支川（波介川、宇治川、日下川）の大規模事業＜直轄事業＞が令和5年度に完了。
- ・今後は、気候変動をふまえ、昨年8月に見直した仁淀川水系流域治水プロジェクト2.0に新規追加したハード対策を河川整備計画に位置づけた上で、住民の生命を守るため、洪水時の本川水位を低下させる下流部の河道掘削や堤防の粘り強い化など、本川の治水対策（ハード対策）を推進することが重要。
- ・迫り来る豪雨災害の脅威に備え、河川のインフラ整備を加速化し、早期に河道掘削や堤防の強靱化などを進めるための重点的な予算配分をお願いします。

【政策提言の具体的内容】

○仁淀川本川における国の抜本的な治水対策の推進

- ・仁淀川本川の子な整備メニュー＜直轄事業＞

①河道の掘削等、②侵食対策、③堤防整備、④堤防の強靱化

- ・流域治水プロジェクト2.0に基づく対策を実施することで、戦後最大洪水（昭和38年8月）に気候変動を加味（降雨量を1.1倍）した洪水が発生した場合でも浸水世帯数を0にすることが可能

【政策提言の理由】

- ・近年、毎年のように全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しています。
- ・このため、仁淀川水系流域治水プロジェクトを気候変動をふまえ見直し、令和5年8月に流域治水プロジェクト2.0を策定したところです。
- ・仁淀川の支川においては、波介川河口導流事業が平成23年度に完了し、近年では、平成26年の豪雨災害を契機とした宇治川、日下川の床上浸水対策特別緊急事業が令和5年度に完了しました。
- ・仁淀川下流域では、本川及び支川沿いに主要な市街地が形成されていますが、その地盤高は本川から離れるほど低くなっており、ひとたび氾濫が発生すると浸水深が深くなるため、多くの住民が命の危険にさらされています。
- ・今後は、住民の生命を守るため、洪水時の本川水位を低下させる下流部の河道掘削などの推進や、いの町市街地で暮らす人々を守るための堤防の強靱化など、本川の治水対策を早期に着手することが重要です。
- ・早期に河道掘削や堤防強靱化などを進めるための重点的な予算配分をお願いします。

【高知県担当課】土木部 河川課